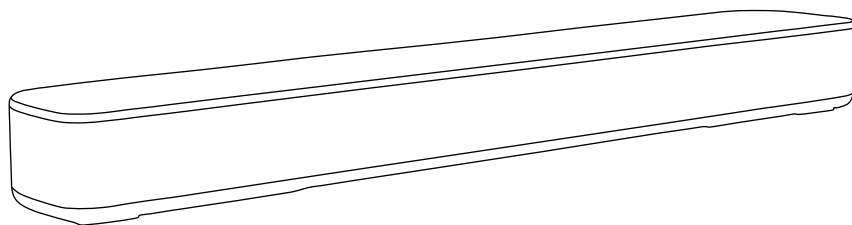


# FunLogy Soundbar

サウンドバー



## FunLogy

**取扱説明書** **保証書付**

このたびは FunLogy 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書（保証書付）を必ずお読みのうえ正しくお使いください。  
お読みになったあとは大切に保管してください。

## 本製品で出来ること

本製品では様々な機器に接続し音楽や映像の音をお楽しみいただけます。  
本書の使い方を参照し、ご使用ください。

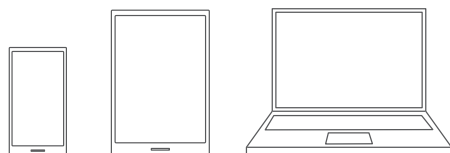
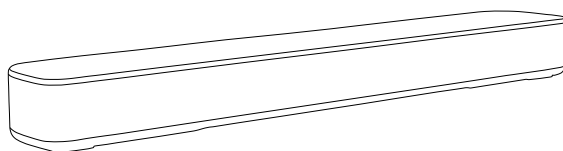
### テレビなどの機器にケーブルで繋げて聞く

(12~14、16ページ)



### より適切な音の設定

(9ページ)



### スマートフォンなどの機器に無線で繋げて聞く

(11ページ)

# 目次

---

安全上のご注意	1
---------	---

---

## 各部名称と働き

---

中身の確認	3
製品本体	3
背面操作部	4
端子および背面ボタン部	4
リモコン	5
リモコン使い方	6

## 基本的な使い方

---

電源をいれる	7
入力モードを選ぶ	7
音量の調節	8
音声の再生 / 選曲	8
サウンドモードの切り替え	9
高音 / 低音の調整	9
電源を切る(スタンバイモード)	10

## 接続の仕方

---

TV(テレビ)に接続する	11
HDMI 接続	12
OPTICAL(光デジタル)接続	14
AUX 接続	15
Bluetooth 接続	16
USB 接続	18

## その他

---

よくある問い合わせ	19
主な仕様	24
保証とアフターサービス	25
無料保証規定	26
保証書	27

# 安全上のご注意

---

## 警告・安全上重要なお願い

FunLogy製品は安全に充分配慮して設計されていますが間違った使い方をされますと、火災や感電などにより人身事故になることがあり大変危険です。安全に正しくお使いいただくために次の注意事項をお守りください。

※記載の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。

## 電源コード・プラグに関するご注意

---



禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグの根元を直接引っ張り、決してコードを引っ張らないでください。  
断線やショート、感電、火災などの原因となります。

電源コードを無理に曲げたり、束ねて使用しないでください。重いものを上に置かないでください。  
断線やショート、感電、火災などの原因となります。

万が一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

濡れた手で製品や電源プラグを触れないでください。  
感電や故障の原因になります。

電力供給には必ず純正の電源アダプタをご使用ください。  
感電や故障の原因になります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 使用に関するご注意

---



禁止

製品を分解、修理、改造しないでください。  
感電や怪我の恐れ、安全性、法令の遵守、および機能を損なう原因となり、製品保証が無効となります。またパーツなどのメンテナンスサービスには対応しておりませんので不具合発生時は販売店にご連絡ください。

---

## 設置に関して

---



禁止

強い磁力の近く、火の付いたろうそくなどの火気の近くに設置しないでください。

防水型ではないため、風呂場や雨の当たる場所、液体が入った物品を製品の近くに置かないよう注意してください。

液体が侵入すると、漏電によって感電や火災の原因となることがあります。

不安定な場所に設置しないでください。

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、サウンドバーが落下して怪我の原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も十分に確認してください。

本製品は、湿気、直射日光、埃っぽい場所を避けて保管してください。

本などの重たいものを機器の上に置かないでください。

---

## 万が一、異常が起きたら

万が一、異常な発熱、変な音、臭い、煙の発生、などの異常がおきましたら、ただちに電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店または、FunLogic 窓口 (25 ページ) にお問い合わせください。

# 各部名称と働き

## 中身の確認

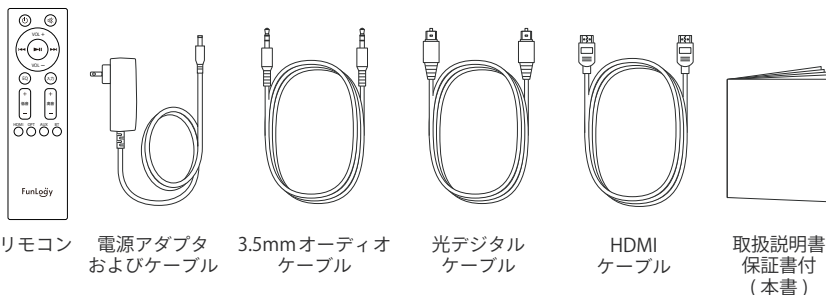
ご使用前に付属品がすべて揃っていることを確認してください。万が一足りないものがございましたら、FunLogy お問い合わせ窓口 (25 ページ) よりご連絡ください。

※リモコン用電池 (単4形乾電池) は付属しておりません。別途お買い求めください。

## 本体

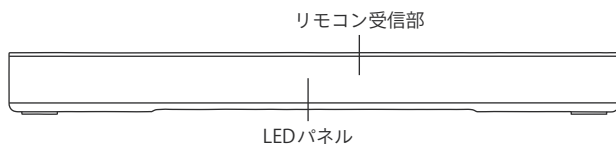


## 付属品

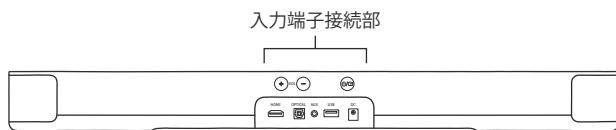


## 製品本体

### 正面

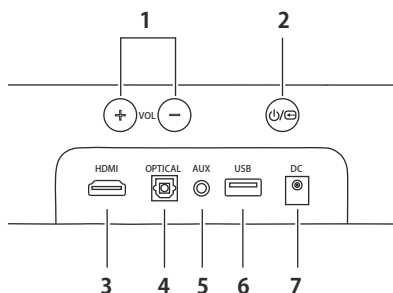


### 背面



## 端子および背面ボタン部

※各種接続の仕方は 11~17 ページ参照



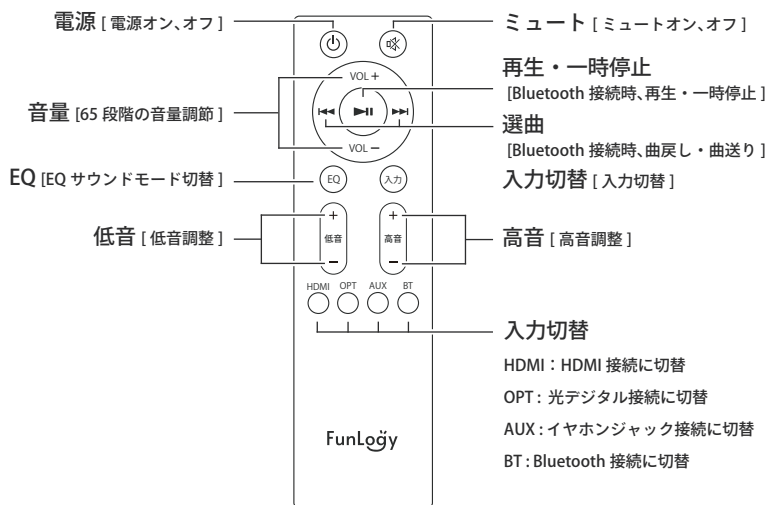
- 1 - 音量 + / - ボタン  
+ : 音量を上げる  
- : 音量を下げる
- 2 - 電源 / 入力 ボタン  
短押し : 入力切替  
長押し : 電源 ON / OFF
- 3 - HDMI (ARC) HDMI ケーブル用
- 4 - OPTICAL 光デジタルケーブル用
- 5 - AUX 3.5mm オーディオケーブル用
- 6 - USB アップデート用
- 7 - DC IN 電源アダプタ用

### ⚠ 注意

- ・接続する機種によっては付属のケーブルで接続できない場合があります。別途ケーブルをお買い求めください。
- ・光デジタル接続時は出力機器側(テレビなど)の設定が必要な場合があります。出力機器側の取扱説明書を確認してください。

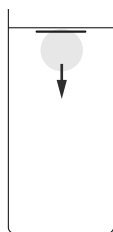
# 各部名称と働き

## リモコン

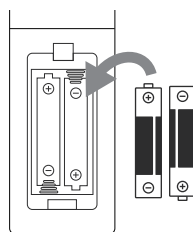


## 電源の入れ方

裏側の電源カバーを外し、+/- (プラス / マイナス) の向きをリモコンの表示に合わせ、単4形乾電池2本 (別売) をマイナス側から入れてください。



1. 上のつまみを指で押してカバーを外す。



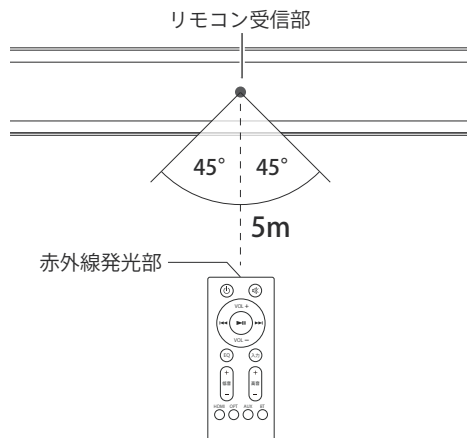
2. +/- (プラス / マイナス) の向きに気をつけて入れ、カバーをはめる。



## 使い方

本体正面のリモコン受信部に向けてリモコンの赤外線発光部を向けて操作してください。

※受信範囲は下記をご覧ください。(推奨)



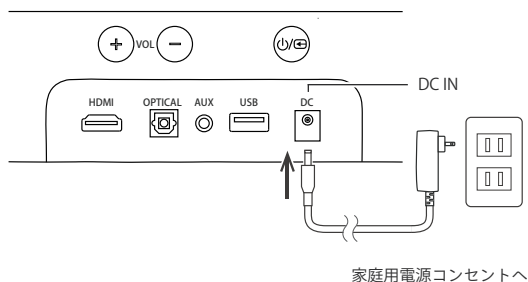
### ⚠ 注意

- ・リモコンは本体に向けてご利用ください。
- ・使用時、落として壊さない、また液体をこぼさないよう、ご注意ください。
- ・リモコンを熱源の近く、直射日光、湿気の多い場所に置かないでください。

# 基本的な使い方

## 1 電源をいれる

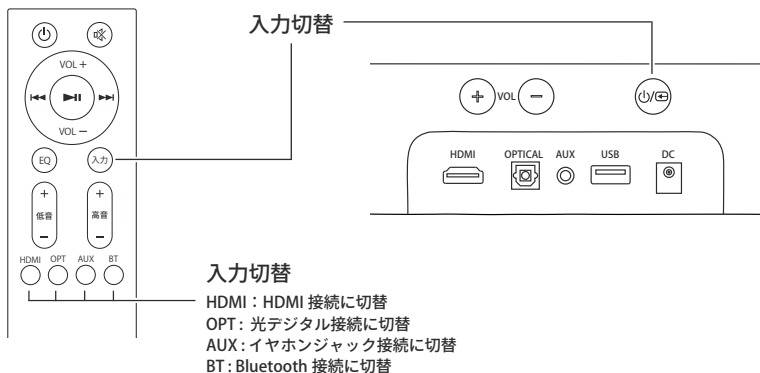
背面の「DC IN」差込口に電源ケーブルをしっかりと奥まで差し込みます。  
リモコン、または本体の電源を長押しします。



## 2 入力モードを選ぶ

各機器の音声出力端子に合わせて必要なものを接続し (11~18 ページ) リモコンまたは本体側面のボタンを押し、切り替えてください。

### 操作方法



### 各入力モードのLED表示

※各入力モードの接続の仕方は11~18 ページをご覧ください。



HDMI 接続



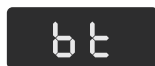
OPTICAL  
光デジタル接続



AUX 接続



USB接続  
(アップデート専用)

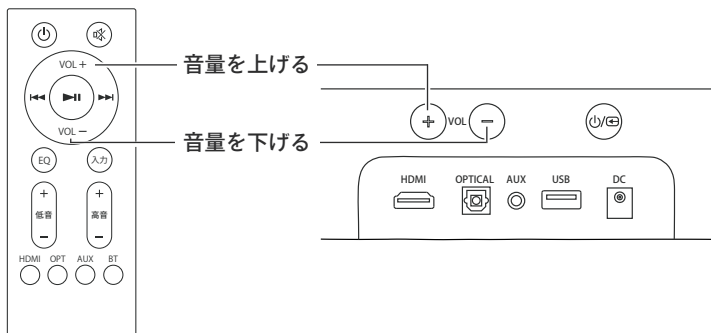


Bluetooth  
接続

### 3 音量の調整

リモコンや本体操作によってLED表示を確認しながら音量の調整を行ってください。

#### 操作方法



#### LED表示

LED表示を見ながら大きさを確認

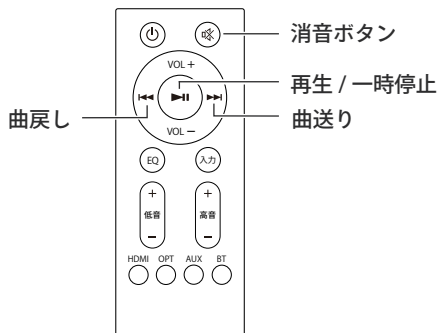


### 4 音声の再生 / 選曲

繋げた機器、リモコン、または本体操作を使って音声进行操作してください。

※曲送り、曲戻しは Bluetooth 接続した場合にご利用いただけますが、音楽再生アプリや接続デバイスによっては対応していない場合があります。

#### 操作方法

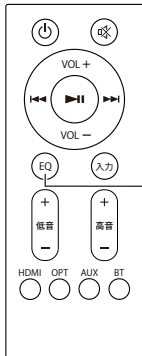


# 基本的な使い方

## 5 サウンドモードの切り替え

リモコンのEQ(イコライザー)ボタンを押し音源の内容に合わせてサウンドモードを設定してください。

### 操作方法



EQボタン

### LED表示とその内容

以下のサウンドモードからお好みの設定を選択してください。

EQ 1

#### スタンダード

標準モードです。音楽を聴く際にも最適です。

EQ 2

#### クリアボイス

人の声を聴きやすくします。  
ニュースやドラマに最適です。

EQ 3

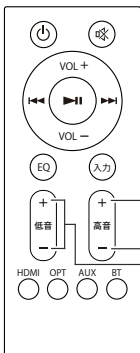
#### 低音モード

臨場感溢れるサウンドを実現します。  
映画や音楽に最適です。

## 6 高音 / 低音の調整

EQボタンで設定した音色をさらに高音ボタン、低音ボタンで調整することによりお好みの音色にカスタマイズすることができます。

### 操作方法



高音ボタン

低音ボタン

### LED表示とその内容

表示を見ながらお好みの設定をしてください。

#### 高音：11段階

tr -5 ~ tr 0 ~ tr 5

-5 . . . . 0 . . . . +5

#### 低音：11段階

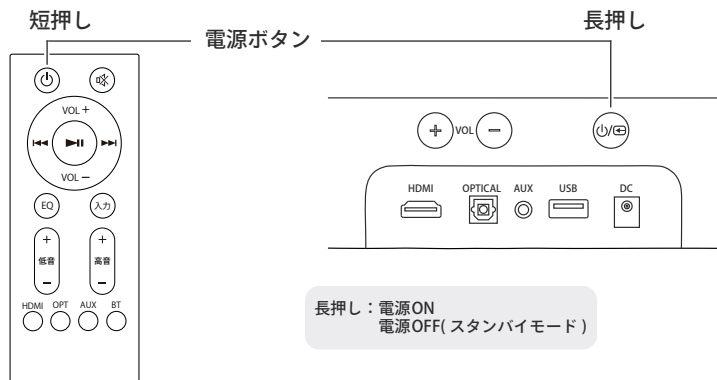
bs -5 ~ bs 0 ~ bs 5

-5 . . . . 0 . . . . +5

## 7 電源を切る(スタンバイモード)

使用後は電源ボタンを押してスタンバイモードにしてください。次回使用される際は再度電源ボタンを押して起動してください。

### 操作方法



### ⚠ 注意

- ・長時間使用しない場合は、主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・音量は音源側の大きさに影響されるため、音が大きすぎる、または小さすぎる際は音源の音量を調整してください。

安全上の注意

各部分名称と働き


基本的な使い方

接続の仕方

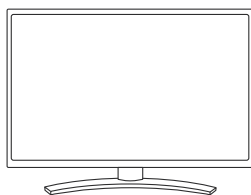
その他

# 接続の仕方

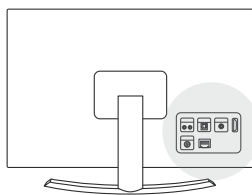
## TV(テレビ)に接続する

テレビ本体の背面の出力端子を確認し、それぞれ任意の接続方式に合わせて、入力モードをリモコンまたは端子および背面ボタン部の入力切替ボタンにて変更します。

TVオモテ



TVウラ



### HDMI ( ARC ) 接続

(12 ページ)

### 光デジタル接続

(14 ページ)

### AUX(イヤホンジャック) 接続

(15 ページ)

TV側  
差込口例



HDMI 出力端子  
HDMI ARC 端子



光デジタル  
端子

カバーは外さず  
そのまま押し込む



イヤホンジャック  
端子

接続に必要な  
ケーブル  
(\*は付属品)



HDMI ケーブル\*



光デジタルケーブル\*  
先端保護キャップ(白)を  
外し、差込口の向きに注意



3.5mm オーディオ  
ケーブル\*

サウンドバー 側  
背面差込口  
(4ページ)



HDMI



OPTICAL

カバーは外さず  
そのまま押し込む



AUX

AUX(イヤホンジャック)  
端子

入力モード  
LED表示



HDMI 接続



光デジタル接続  
(OPTICAL)



AUX 接続

## HDMI(ARC)接続

テレビや再生機器などのHDMI ARC出力に接続します。

必要なもの HDMI ARCケーブル(付属品) または、HDMI ARCケーブル(別売)

### 1 入力モードを変更する

リモコンのHDMIボタン、または本体の入力切替ボタンをLED表示が「Hd」になるまで押す。



### 2 外部機器を繋げる

#### ARC接続する場合

HDMI ARCケーブル(付属品)または、HDMI ARCケーブル(別売)を所定の場所に接続する。

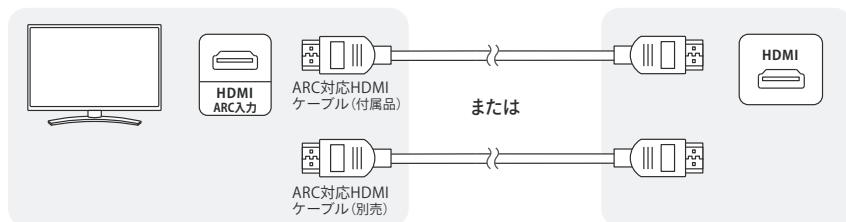
※ARC接続したテレビが電源連動機能に対応している場合、テレビの電源を入れた際にスピーカーの電源もONになります。

※ARC接続以外の方法(光デジタルケーブルなど)でテレビと本製品を接続している場合、本製品に接続したブルーレイレコーダーなどの再生機器の映像はテレビに映し出すことは出来ません。これらの機能は他社製の機器とご利用できる場合がありますが、動作を保証するものではありません。

※これらの機能は他社製の機器とご利用できる場合がありますが、動作を保証するものではありません。

入力(テレビ)側

入力(本体)側



#### ⚠ 注意

使用する HDMI ケーブルは、ARC に対応しているものを使用してください。

ARC 非対応のテレビの場合は、別途音声ケーブルを使用してサウンドバーと接続する必要があります。サウンドバーとテレビの両方が ARC に対応していることを確認してください。テレビの設定メニューで「HDMI コントロール」または「CEC 機能」をオンにしてください。

音声が出力されない場合は、ケーブルの接続やテレビの設定を再確認してください。テレビのリモコンでサウンドバーの音量を調整できない場合、テレビの「HDMI コントロール」または「CEC 機能」がオンになっているか再確認してください。

# 接続の仕方

---

## テレビがARC非対応の場合

ご利用のテレビがHDMI ARC非対応の場合は、その他の接続方法でご利用ください。

光デジタル接続 14ページ参照

AUX（イヤホンジャック）接続 15ページ参照

Bluetooth接続 16ページ参照




## OPTICAL(光デジタル)接続

テレビや再生機器などの光デジタル音声出力に接続します。

必要なもの

光デジタルケーブル(付属品)

### 1 入力モードを変更する

リモコンまたは端子および背面ボタン部の入力切替ボタン  を押して入力モードを光デジタル接続に切り替えます。



LED表示を「Opt」に切り替える

### 2 外部機器を繋げる

付属の光デジタルケーブルの先端保護キャップを外し、所定の場所に接続する。

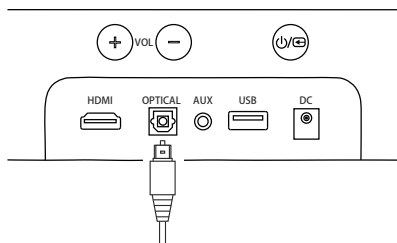
#### 出力側

光デジタル差込口にケーブルを差し込む



#### 入力(本体)側

OPTICALにケーブルを差し込む



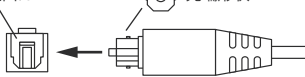
※差し込む前に必ず白色の保護キャップを外し、差込口の向きをご確認ください。  
※差込口にはカバーが付いていますが外さずそのまま押し込むように差ししてください。

保護キャップ



差込口カバー

先端形状



#### ⚠ 注意

- ・ケーブルを先にテレビなど出力側に接続すると、反対側のケーブル先端の穴が赤く光ります。強い光ですので目を痛める恐れがあります。覗きまなないようにしてください。

# 接続の仕方


## AUX 接続

テレビや再生機器などのオーディオ出力・イヤホンジャック等に接続します。

必要なもの

3.5mm オーディオケーブル (付属品)  
または RCA オーディオケーブル (別売)

## 1 入力モードを変更する

リモコンまたは端子および背面ボタン部の入力切替ボタン  を押して入力モードをAUX接続に切り替えます。



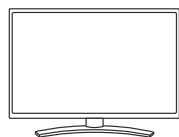
LED表示を「AUX」に切り替える

## 2 外部機器を繋げる

付属の3.5mmオーディオケーブルまたはRCAオーディオケーブル(別売)を所定の場所に接続する。

### 出力側

オーディオケーブル差込口にケーブルを差し込む



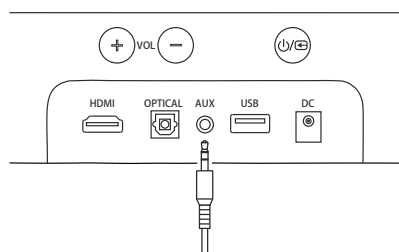
3.5mm オーディオ  
ケーブル(付属)



RCA オーディオ  
ケーブル(別売)

### 入力(本体)側

AUXにケーブルを差し込む




## Bluetooth 接続

Bluetooth接続ができるBluetooth機器(スマートフォンやタブレット)と接続(ペアリング)すると音声をワイヤレスで聞くことができます。

必要なもの

Bluetooth接続が可能な機器(5.0)

### 1 入力モードを変更する

リモコンのBTボタン、または端子および背面ボタン部の入力切替ボタンを押して入力モードをBluetooth接続に切り替えます。



LED表示を「bt」に切り替える

### 2 外部機器を繋げる(ペアリングする)

本体のLED表示パネルが点滅しているのを確認してから、繋げたいデバイスのBluetooth機能を有効にし、リストが表示されたら“FunLogy Soundbar”を選択します。(パスワードを要求された場合は「0000」を入力します。)

ペアリングが完了するとLED表示が点滅から点灯に変わり、メロディーが流れます。



#### ⚠ 注意

- ・2回目以降の接続はサウンドバー本体の電源ON、またはBluetooth機器側でBluetooth機能を有効にした際に自動接続されます。
- ・新しくBluetooth機器を接続したい場合は、現在接続しているBluetooth機器のBluetooth機能を無効にしてください。

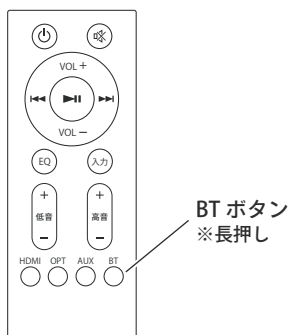
# 接続の仕方

## 3 サウンドバー 側から接続を外す (ペアリング解除する)

リモコンの BT ボタンを長押しで Bluetooth ペアリングを解除します。解除するとメロディが流れます。

※接続先のデバイスからも解除が可能です。

### 操作方法



---

## USB接続

USB端子はアップデート専用です。  
本機のファームウェアをアップデートする時に使用します。

### 注意

- ・ USB 機器内の音楽ファイルを再生できません。

# よくある問い合わせ

本機の調子がおかしいときは、お問い合わせいただく前にもう一度以下の項目を確認してください。それでも正常に動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。

Q	A
<b>HDMI ARC 全般</b>	
HDMI ARC とは何ですか？	HDMI ARC (Audio Return Channel) は、テレビと外部のオーディオ機器 (例：サウンドバー) を 1 本の HDMI ケーブルで接続し、両方向の音声転送を可能にする機能です。これにより、別途オーディオケーブルを使用することなく、テレビの音声を外部のオーディオ機器で出力することができます。
HDMI ARC 用の特別なケーブルは必要ですか？  HDMI ARC を使用すると、画質に影響はありますか？	特別なケーブルは不要ですが、HDMI 1.4 以降の HDMI ARC 規格に対応したケーブルを使用することをおすすめします。  リモコン操作時にノイズを与えることがあります。 以下の内容をご確認ください。 1. 接続ケーブルを抜き差ししてください。 2. 他の接続方法で接続してください。
テレビのどの HDMI ポートを 使用すれば ARC が使えますか？	テレビの HDMI ポートの中で、ARC または eARC と表示されているポートを使用してください。
<b>HDMI ARC トラブル</b>	
HDMI ARC を使っても音が出ないのですが、どうすればいいですか？ (SONY BRAVIA の場合)	SONY BRAVIA の場合、テレビの音声設定を変更してください。 1. 音声出力先の設定を変更できる場合は「外部オーディオ」「外部スピーカー」などの設定を選択してください。 2. 音声出力フォーマットを「PCM」に変更してください。 「Auto1」や「Auto2」では音声出力できないことがあります。
HDMI ARC を使っても音が出ないのですが、どうすればいいですか？	テレビの音声設定を変更してください。 1. 音声出力先の設定を変更できる場合は「外部オーディオ」「外部スピーカー」などの設定を選択してください。 2. 音声出力フォーマットを「PCM」に変更してください。
テレビとサウンドバーの両方が ARC 対応でない、ARC は使用できないのですか？	はい、ARC を利用するためには、テレビとサウンドバーの両方が ARC に対応している必要があります。
HDMI ARC 接続時、電源 ON/OFF 連動や音量連動できません。	HDMI ARC および、HDMI CEC 機能は、全ての機器の動作を保証するものではありません。 以下の内容をお試しいただいた上で、症状が改善するかご確認ください。 1. 音声出力先を「外部スピーカー」に変更してください。 2. 音声出力フォーマットを「PCM」に変更してください。 3. テレビの HDMI CEC (Consumer Electronics Control) または同等の機能が有効になっていることを確認してください。 4. テレビの設定メニューで、オーディオ同期設定やリップシンク機能を調整してみてください。
HDMI ARC 接続時にリモコンでサウンドバーの音量を調整できません。	テレビの HDMI CEC (Consumer Electronics Control) または同等の機能が有効になっていることを確認してください。 ※テレビ側の設定につきましては、テレビの販売元にお問い合わせください。

Q	A
HDMI ARC 接続時、オーディオの遅延やラグを感じる場合があります。対策は？	テレビの設定メニューで、オーディオ同期設定やリップシンク機能を調整してみてください。 ※テレビ側の設定につきましては、テレビの販売元にお問い合わせください。
Amazon Fire TV Stick、DVD・Bluray レコーダー、Apple TV など、外部機器と接続する方法は？	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テレビとサウンドバーを接続します。 テレビの HDMI ARC 対応端子をサウンドバーの HDMI ARC 端子に HDMI ケーブルで接続します。 ※HDMI ARC 端子の代わりに、光デジタル端子、AUX 端子、Bluetooth 接続を用いることができます。</li> <li>2. テレビと外部機器 (Amazon Fire TV Stick や DVD レコーダーなど) を接続します。 テレビの別の HDMI 入力端子を外部機器の HDMI 出力端子に HDMI ケーブルで接続します。</li> <li>3. 設定の確認をします。 テレビのメニューで、音声出力先を「外部スピーカー」にし、音声出力フォーマットを「PCM」に設定します。 DVD レコーダーの HDMI 映像出力設定が適切であることを確認します。</li> </ol> <p>以上の方法で接続することにより、DVD レコーダーで再生した映像はテレビで、音声はサウンドバーから出力されます。また、テレビの通常放送や他の接続されたデバイスの音声もサウンドバーで再生できるようになります。</p>
<b>音に関して</b>	
音が途切れる、音飛びする、しばらくすると音が出なくなる	音源の音量が小さいと、正しく音声が出力されない可能性があります。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音源側(テレビ、モニター、パソコンなど)の音量をできるだけ上げてください。</li> <li>2. 本機の音量を下げてください。</li> </ol> <p>また、光デジタルケーブルを使用すると改善する場合があります。下記の手順をお試しくさください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 光デジタルケーブルでテレビと接続してください。</li> <li>2. テレビのデジタル音声出力の設定を「PCM」に変更してください。</li> </ol> <p>※テレビ側の設定につきましては、テレビの販売元にお問い合わせください。</p>
音が出ない、音が途切れる(テレビと接続した場合)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. テレビの音声出力先の設定を変更できる場合は、「外部オーディオ」「外部スピーカー」などの設定を選択してください。</li> <li>2. テレビのデジタル音声出力の設定が「Dolby(ドルビー)」や「DTS」の場合、音声为正しく出力されません。 テレビのデジタル音声出力の設定を「PCM」に変更してください。</li> </ol>

Q	A
	<p>※テレビ側の設定につきましては、テレビの販売元にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>リモコンの「入力」ボタンを押して正しい入力を選んでください。</li> <li>ミュート機能を解除してください。</li> <li>音量を上げてください。</li> <li>サウンドバーの電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。</li> </ol>
<p>音が出ない、音が途切れる (Amazon Fire TV Stick、DVD・Bluray レコーダー、AppleTV など、外部機器と接続した場合)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>外部接続機器のデジタル音声出力の設定が「Dolby (ドルビー)」や「DTS」の場合、音声为正しく出力されません。 外部機器のデジタル音声出力の設定を「PCM」に変更してください。</li> </ol> <p>※テレビ側の設定につきましては、テレビの販売元にお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>リモコンの「入力」ボタンを押して正しい入力を選んでください。</li> <li>ミュート機能を解除してください。</li> <li>音量を上げてください。</li> <li>サウンドバーの電源コードが正しくコンセントに接続されていることを確認してください。</li> </ol>
<p>ノイズがする</p>	<p>電子機器や高周波機器がサウンドバーの近くにあるか確認し、位置を変更してみてください。</p>
<p>LED 表示が突然消える</p>	<p>一部の LED は数秒後に自動的に消灯することがあります。操作ボタンを押して反応するか確認してください。</p>
<p>サウンドバーが正常に動作しない</p>	<p>サウンドバーと他の機器の接続状態を確認してください。</p>
<b>操作に関して</b>	
<p>テレビのリモコンでサウンドバーを操作できない</p>	<p>HDMI ARC および、HDMI CEC 機能は、全ての機器の動作を保証するものではありません。 以下の内容をお試しいただいた上で、症状が改善するかご確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>音声出力先を「外部スピーカー」に変更してください。</li> <li>音声出力フォーマットを「PCM」に変更してください。</li> <li>テレビの HDMI CEC (Consumer Electronics Control) または同等の機能が有効になっていることを確認してください。</li> <li>テレビの設定メニューで、オーディオ同期設定やリップシンク機能を調整してみてください。</li> </ol> <p>※テレビ側の設定につきましては、テレビの販売元にお問い合わせください。</p>



Q	A
リモコンが使えない、感度が悪い。	<p>リモコンの電池が正しく挿入されているか、または電池の残量を確認してください。</p> <p>電池の交換が必要な場合は、新しいものに交換してみてください。それでも動作しない場合は、購入先または弊社サポートへご連絡ください。</p>
電源がオンにならない	<p>電源コードがしっかり接続されているか、または保護回路が作動していないかを確認してください。</p>
サウンドバーが正常に動作しない	<p>外部電気ショック（落雷、過度の静電気など）や、電源電圧の低下により、内部マイコンがフリーズしている可能性があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. サウンドバーからアダプターを抜いてください。</li> <li>2. 10 秒以上経過してから電源をオンにしてください。</li> </ol>
電源がオンにならない	<p>リモコンに電池が入っていない、または、アダプター、リモコン、本体のいずれかに原因があります。下記の内容を確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アダプターを、コンセントと本機から抜き差しして電源がオンになるか確認してください。</li> <li>2. リモコンの電源ボタンと、本体裏面の電源ボタンから電源がオンになるか確認してください。</li> </ol> <p>※リモコンの電源ボタンは1回押し、本体裏面の電源ボタンは長押しで電源がオンになります。</p> <p>上記1、2を確認しても電源がオンにならない場合はお問い合わせください。</p>
<b>Bluetooth に関して</b>	
Bluetooth 接続で再生中、音が小さい	<p>以下の対処法をご確認ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. テレビ、スマートフォンなどの、接続している Bluetooth 機器の音量を大きくしてください。</li> <li>2. サウンドバーの音量を大きくしてください。</li> <li>3. 一度 Bluetooth の接続を切断し、再びペアリングを行って接続してみてください。</li> <li>4. Bluetooth 機器の設定を確認してください。</li> </ol> <p>一部の機器では、Bluetooth オーディオの設定で音質や音量を調整するオプションがあります。</p> <p>接続機器の設定メニューで、Bluetooth オーディオの設定を確認してみてください。</p> <p>※テレビ側の設定につきましては、テレビの販売元にお問い合わせください。</p>

Q	A
曲の始めが欠ける	Bluetooth 接続の遅延が考えられます。別の Bluetooth 機器で接続して試してみてください。
遅延がある	Bluetooth 接続は、一部の機器や状況により遅延が生じることがあります。状況を変えて接続してみてください。
Bluetooth 機器と接続できない	サウンドバーの Bluetooth 設定や距離、他の電子機器との干渉を確認してみてください。
<b>付属品に関して</b>	
アダプターやリモコンなどが同梱されていない	製品の箱と内容物リストを確認してください。不足している場合は、弊社サポートへご連絡ください。
保証書をなくした	購入時の注文番号をご準備の上、弊社問い合わせ窓口までご連絡ください。
<b>その他</b>	
壁掛けの方法が分からない	本製品だけでは壁掛けには対応しておりません。壁掛けが必要な場合は、専門家への依頼を検討してください。
昔のテレビと接続できますか	弊社のサウンドバーは多くのテレビとの互換性がありますが、古いテレビの接続端子や規格によっては接続できない場合があります。テレビの接続端子や取扱説明書をご確認ください。

# こんなときは

本機の調子がおかしいときは、お問い合わせいただく前にもう一度以下の項目を確認してください。それでも正常に動作しない場合は、販売店へお問い合わせください。

症 状	考えられる理由
<b>最初に確認すること</b>	
ご使用中のサウンドバーが正常に動作しなくなった場合は、最初に次の点を確認してください。	すべての機器の電源プラグがACコンセントにしっかりと接続されている。 サウンドバー、テレビ、AV機器の電源がオンになっている。 各種器間のケーブルが端子にしっかりと接続されている。
<b>電源 / 動作全般</b>	
電源が入らない、サウンドバーが正常に動作しない。	電源ケーブルをコンセントから抜き、1分以上経過してから接続し直してください。タコ足配線になっている場合、壁の電源コンセントに直接ケーブルを接続してください。 原因：外部電気ショック(落雷、過度の静電気など)やタコ足配線などの電源電圧の低下により製品内部に異常が生じている。
リモコンでサウンドバーを操作できない。	リモコンの操作範囲内で操作してください。 原因：操作範囲から外れている。  新しい電池に交換してください。 原因：電池が消耗している。  日光や強い照明が当たらないよう、サウンドバーを設置し直してください。 原因：サウンドバーのリモコンの受光部に日光や強い照明が当たっていたる。
<b>音声</b>	
音が出ない。	テレビまたはAV機器側の音声出力設定から、音声フォーマットをPCMもしくは、Dolby Digitalをオフ(自動)に変更してください。 ※テレビまたはAV機器側の設定方法は、各製造元や販売元にお問い合わせください。 原因：サウンドバーは再生できない信号が入力されている。  正しい入力先を選んでください。 原因：再生したい入力選ばれていない。  消音を解除してください。 原因：消音されている。  テレビやモニターなどの音源の音量をできるだけ大きくしサウンドバー側の音量をさげてください。 原因：音源から入力される音量が小さい。  サウンドバーの入力端子とAV機器の出力端子を接続してください。 原因：入力端子同士を接続している。

安全上のご注意

各部名称と働き

基本的な使い方

接続の仕方

その他

症 状	考えられる理由
<p>ストリーミングデバイス (Amazon Fire TV Stick など) 使用時に音が出ない。</p>	<p>ストリーミングデバイスの音声出力設定から、音声フォーマットを PCM もしくは、Dolby Digital をオフ (自動) に変更してください。  ※ストリーミングデバイスの設定方法は、製造元や販売元にお問い合わせください。  原因：サウンドバーが再生できない信号が入力されている。</p>
<p>音が小さい。</p>	<p>テレビ側でヘッドフォン設定の音声調整を行ってください。改善ない場合は、光デジタルケーブルで接続しご利用ください。  原因：アナログ接続 (別名：AUX 接続、ライン接続) している。</p> <hr/> <p>サウンドバーおよび接続した機器の音量を上げてください。  原因：音量が小さい。</p> <hr/> <p>iPhone の場合は、設定&gt;サウンドと触覚&gt;ヘッドフォンの安全性 より設定の変更が可能です。  ※スマートフォン側の設定は、製造元や販売元にお問い合わせください。  原因：iPhone に接続時、iPhone 側から出力音量を抑制されている。</p>
<p>ノイズが入る。</p>	<p>テレビまたは AV 機器側の音声出力設定から、音声フォーマットを PCM もしくは、Dolby Digital をオフ (自動) に変更してください。  ※テレビまたは AV 機器側の設定方法は、各製造元や販売元にお問い合わせください。  原因：サウンドバーが再生できない信号が入力されている。</p>
<p><b>Bluetooth</b></p>	
<p>Bluetooth 機器と接続できない。</p>	<p>入力を Bluetooth にしてください。  原因：サウンドバーの入力が Bluetooth 以外になっている。</p> <hr/> <p>サウンドバーと Bluetooth 機器を近づけ、遮蔽物のない空間でご利用ください。  原因：サウンドバーと Bluetooth 機器の距離が離れすぎている、遮蔽物がある。</p> <hr/> <p>電磁波を発生する機器の近くでの使用を避けてください。  原因：電磁波 (Bluetooth、Wi-Fi、赤外線、その他の無線信号など) を発する機器 (電子レンジ、無線機器など) がそばにある。</p>

症 状	考えられる理由
	<p>Bluetooth 機器の接続を切断してから、新しいBluetooth 機器を接続してください。 原因：サウンドバーと別のBluetooth機器が接続している(初めて接続するBluetooth 機器の場合)。</p> <hr/> <p>接続中のBluetooth機器のうちどちらかの接続を切断してから、別のBluetooth機器を接続してください。 原因：すでに2台のBluetooth機器が接続している(一度本製品と接続したことがあるBluetooth 機器の場合)</p>
Bluetooth接続時に音が小さい。	<p>iPhoneの場合は、設定&gt;サウンドと触覚&gt;ヘッドフォンの安全性より設定の変更が可能です。 ※スマートフォン側の設定は、製造元や販売元にお問い合わせください。 原因：iPhoneと接続時、iPhone 側から出力音量を抑制されている。</p> <hr/> <p>サウンドバーおよび Bluetooth機器の音量を上げてください。 原因：Bluetooth機器の音量が小さすぎる。</p>
Bluetooth接続時に音が出ない。	<p>原因：Bluetooth機器の音声出力先が本製品になっていない。 Bluetooth機器を操作し、音声出力先として本製品を選択してください。</p> <hr/> <p>入力を Bluetoothにしてください。 原因：サウンドバーの入力が Bluetooth以外になっている。</p>
Bluetooth接続時に音が途切れる。	<p>Bluetooth機器をサウンドバーの近くに移動してください。 原因：サウンドバーと Bluetooth機器の距離が離れすぎている。</p> <hr/> <p>電磁波を発生する機器の近くでの使用を避けてください。 原因：電磁波を発生する機器(電子レンジ、無線機器など)がそばにある。</p>

# 主な仕様

モデル	FunLogy Soundbar	
製品サイズ	約 W 610 mm × D 100 mm × H 62 mm (脚含む)	
製品重量	2.3 kg	
ツイーター	ユニット	44 × 80 mm × 2
	出力	20 W
サブウーファー	ユニット	φ 78 mm × 2
	出力	30 W
再生周波数帯域	55 Hz - 18 Hz	
Bluetooth	バージョン	5.0
	対応プロファイル	A2DP
	対応コーデック	SBC、AAC
	無線出力	class2
	最大通信距離	10 m
対応可能フォーマット	PCM	
入力インターフェース	HDMI (ARC対応)、光デジタル、3.5 mm AUX、	
	USB (アップデート専用)	
サウンドモード	スタンダード、クリアボイス、低音モード	
イコライザー機能	低音：±5、高音：±5	
電源	DC 18V - 2.33 A	
消費電力	70 W	
その他	LEDディスプレイ	
付属品	ACアダプター、リモコン、3.5 mm オーディオケーブル	
	光デジタルケーブル、HDMIケーブル (ARC対応)	
	取扱説明書 (保証書)	

※本機は日本国内専用です。海外でのご利用は保証対象外となります。

※仕様および外観は改良のため予告なしに変更することがあります。

※実機と異なる場合は、実機の仕様・外観が優先されます。

# 保証とアフターサービス

## 保証書

この製品には本取扱説明書に保証書が添付されています。(本書裏表紙)所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

※保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子が悪いときはまず「こんなときは」(16~18ページ)を参考にして故障かどうかを点検してください。それでも解決できないときは販売店の相談窓口へお問い合わせください。販売店の相談窓口へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

[製品の型名 / 接続している機器のメーカーと型名 / 故障の状態 / 購入年月日]

## 保証期間中の修理について

保証規約に基づいて修理させていただきます。詳しくは次項、「無料保証規定」をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。ただし、故障の状況やその他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

## 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

## お問い合わせ窓口 [営業時間：平日 10:00~17:00]

※営業時間外、土日祝にいただいたお問い合わせにつきましては、翌営業日より順次対応させていただきます。

電話 : 043-441-3887  
公式サイト : [funlogy.jp](http://funlogy.jp)  
メール : [support@funlogy.jp](mailto:support@funlogy.jp)  
公式LINE : FunLogy



公式サイト



メール



公式LINE

安全上の注意

各部分名称と働き

基本的な使い方

接続の仕方

その他

## 無料保証規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。送料につきましてはご購入後1ヶ月以内の不良(初期不良保証)の場合は当店が送料を負担いたします。ご購入後1ヶ月を経過した場合、1年以内の故障の場合は送料お客様負担となります。本書記載の修理対応の内容をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行いたしませんので大切に保管してください。)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口は(1)お買い上げの販売店、又は、(2)本書記載のお問い合わせ窓口になります。
2. 保証期間内でも次の場合には有料となります。
  - (1)本書のご提示がない場合
  - (2)本書のお買い上げ年月日、お客様名、販売店名を書き換えた場合
  - (3)お買い上げの年月日、販売店が確認できない場合
  - (4)保証期間中に発生した故障について保証期間終了後に修理依頼された場合
  - (5)使用上の誤り(取扱説明書の注意書きに従った正常な使用をしなかった場合を含む)による故障・損傷
  - (6)他の機器から受けた障害、または不当な修理、改造による故障・損傷
  - (7)お買い上げ後の移設・輸送・落下などによる故障・損傷
  - (8)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷
  - (9)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷
  - (10)消耗・磨耗した部品の交換、汚損した部分の交換
3. 故障状況その他事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
4. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。
5. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
7. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。
8. 機器にインストールされたアプリのアップデートによりアプリが使用できない場合の保証はいたしません。
9. 本書は日本国内でのみ有効です。日本国外で発生した故障、事故、または日本国外で使用された場合につきましてはいかなる内容も保証いたしません。  
※本書はおお客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
※保証期間後の修理については取扱説明書をご覧ください。  
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。



## 保証書

製品名	FunLogy Soundbar サウンドバー
保証期間	ご購入日より <b>1年間</b>
ご購入日	年 月 日
お客様情報	お名前・ご注文番号
	販売店・ご注文サイト

※本書はお買い上げの日から下記期間中に正しい使い方をして故障が発生した場合に、**無料修理**を行うことをお約束するものです。**再発行いたしませんので大切に保管してください。**  
※ご購入から1年が経過した商品については、有償対応となりますのでご了承ください。  
※有償修理において部品の調達ができない場合は、修理不可となる場合もあります。  
※お買い上げいただいた製品のレシート又は各種ショッピングサイトの注文番号と一緒に保存して下さい。

### お問い合わせ窓口

[ 営業時間：平日 10:00~17:00 ]

電話 : 043-441-3887  
公式サイト : funlogy.jp  
メール : support@funlogy.jp  
公式LINE : FunLogy



公式サイト



メール



公式LINE

※営業時間外、土日祝日にいただいたお問い合わせにつきましては、翌営業日より順次対応させていただきます。

安全上のご注意

各部名称と働き

基本的な使い方

接続の仕方

その他

このページは空白です。

このページは空白です。

このページは空白です。